



長崎県漁業無線局の沿革

- 昭和5年7月 長崎県漁業無線電信所開設
- 昭和20年8月 原爆投下により破壊・中断
- 昭和41年9月 長崎市柿泊町へ移設
- 昭和55年4月 社団法人長崎県漁業無線協会設立
- 平成5年4月 統合整備事業で県内4局を合併し、
新たな長崎県漁業無線局の運用開始
- 平成18年6月 長崎県小型漁船緊急通報システム運用開始



長崎県漁業無線局の免許人は？

- 水産庁 (業務受託)
- 長崎県 (業務受託)
- 福岡県 (業務受託)
- 佐賀県 (業務受託)
- 社団法人長崎県漁業無線協会



無線設備を共用

無線局の場所はどこ？



受信・通信所(長崎市柿泊町)

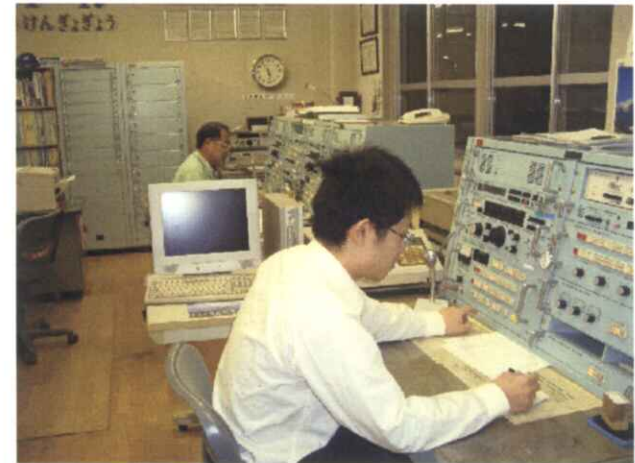
NTT専用回線
遠隔制御



**送信所(長崎市松崎町)
“無人局”**

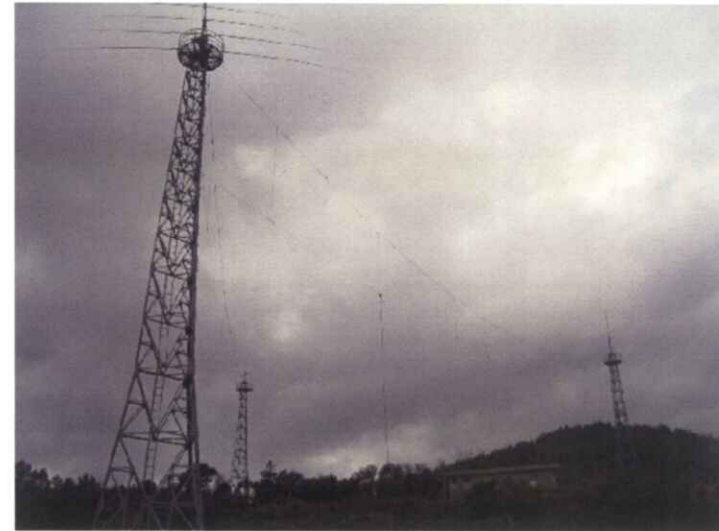
通信機器（受信・通信所）

- 中短波・短波送信機 2台
- 27MHz1W送受信機 2台
- 全波受信機 10台
- ナブテックス受信機
- 受信用アンテナ 9条+2基
- 予備発電機 1基
- 緊急通報システム
- 統制局サーバー装置 一式



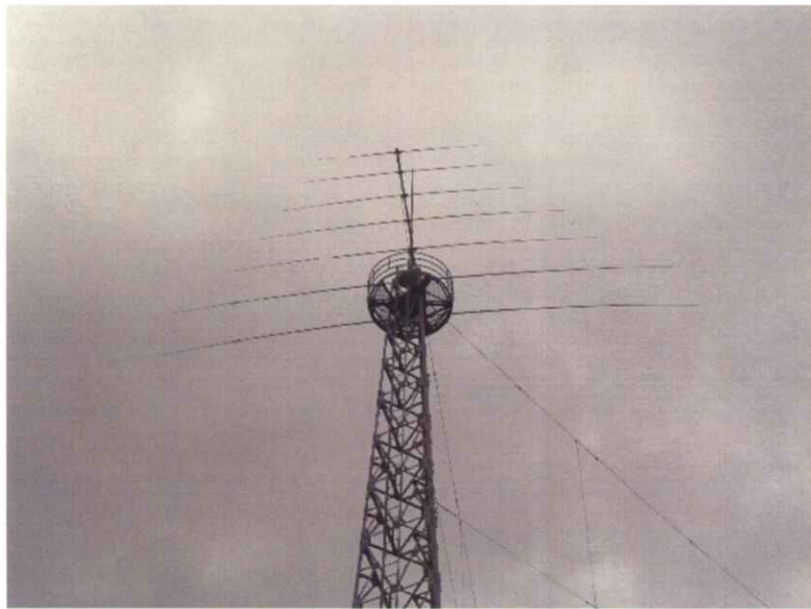
通信機器(送信所)

- 中短波・短波送信機 5台
- 送信用アンテナ 9条+1基
- 予備発電機 1基



アンテナの形状

ダイポールアンテナ



- マルチダイポールアンテナ

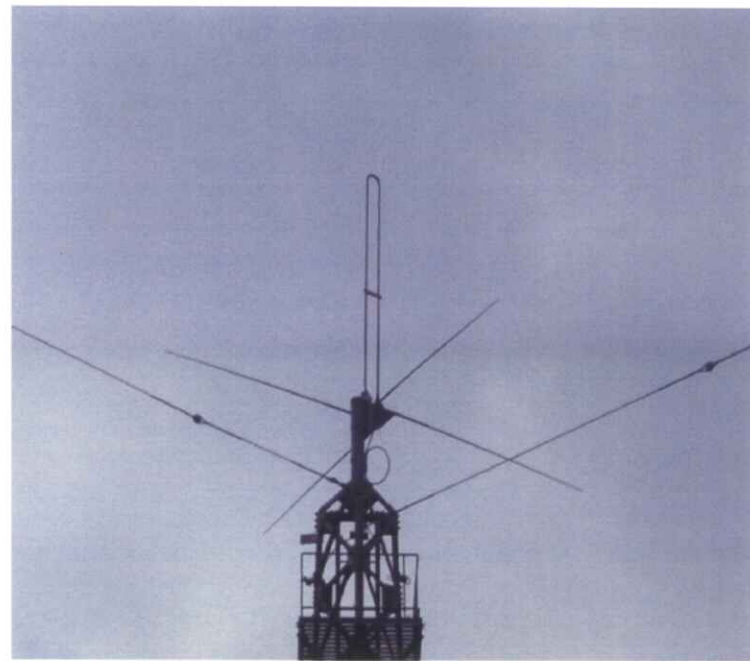


アンテナの形状その2

- 逆Lアンテナ



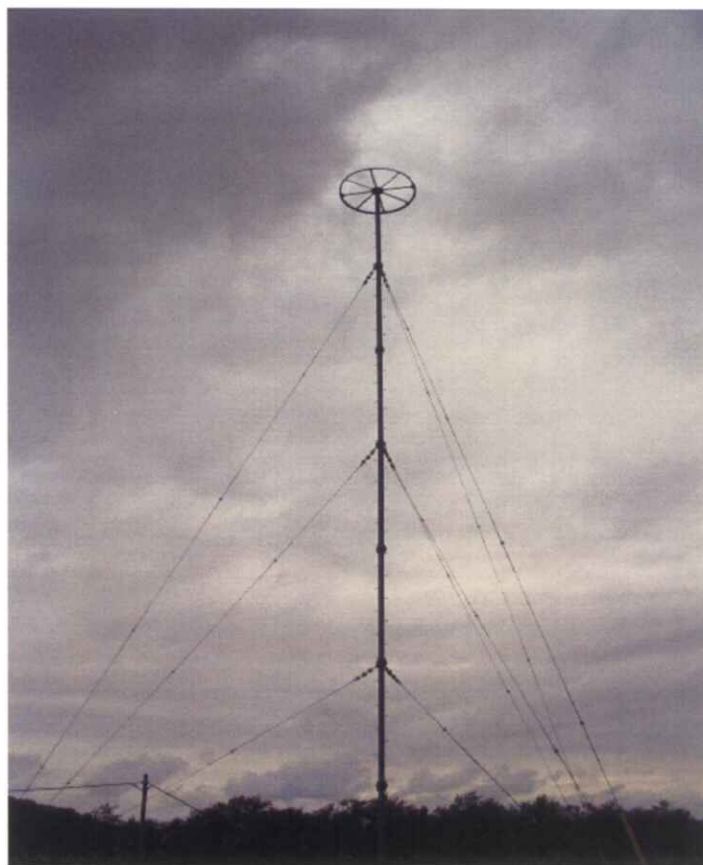
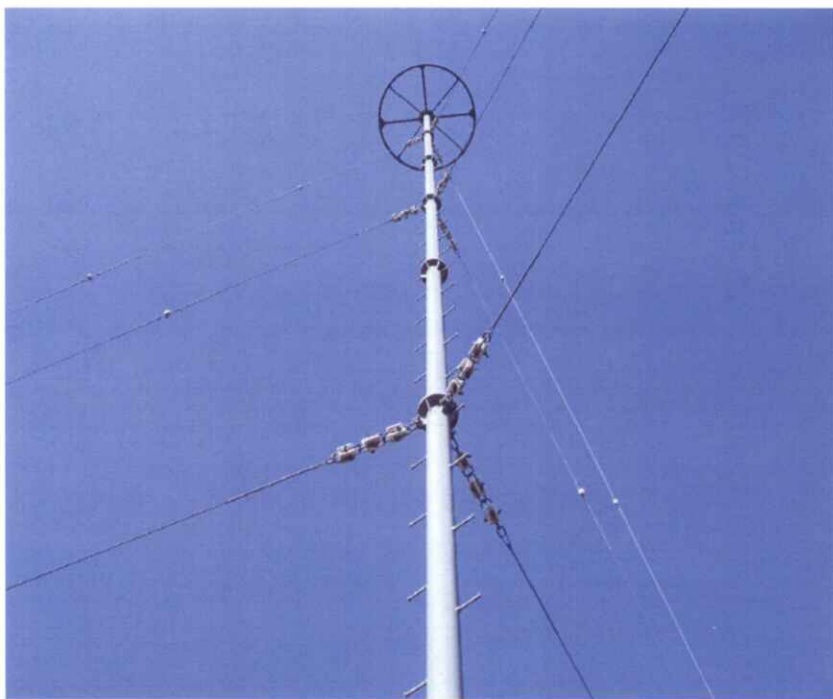
- ブラウンアンテナ





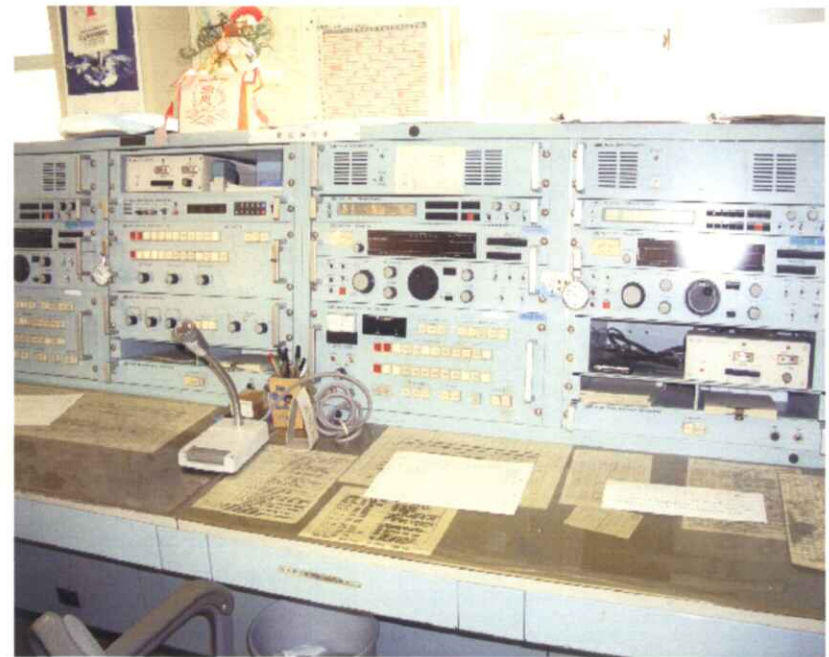
アンテナの形状その3

- トップロードアンテナ



無線設備（受信・通信所）

- 短波・中短波送信機
- 受信機・制御器



無線設備（受信・通信所）その2

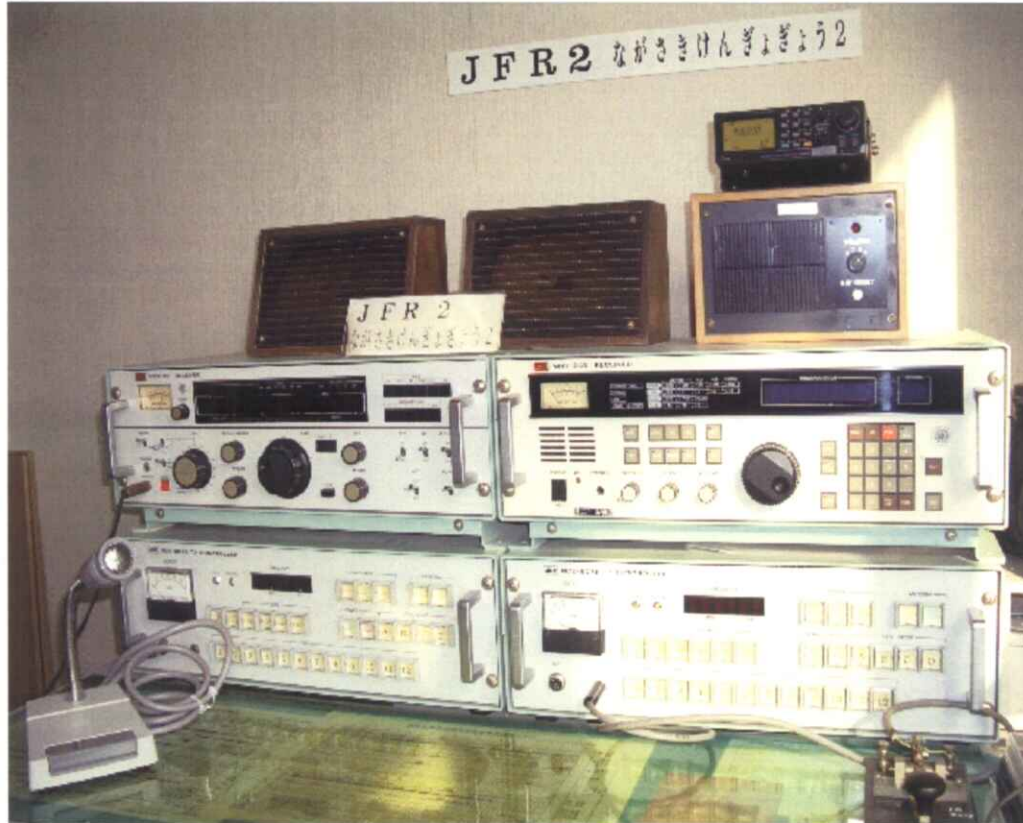
- 27MHz1WDSB送受信機



- レジャー無線（350MHz帯5W送受信機）

無線設備（受信・通信所）その3

- JFR2 ながさきけんぎょぎょう2



無線設備(受信・通信所)その4

気象情報受信装置



無線FAX送受信装置



所属船の隻数は？

■ 大中型旋網漁業	78隻
■ 以西底曳網漁業	11隻
■ 一本釣、延縄漁業など	12隻(活魚船1隻含)
■ 大目流網漁業	5隻
■ 漁業実習船	3隻
■ 官公庁船(漁業取締船など)	26隻
(水産庁11隻、長崎県11隻、福岡県2隻、佐賀県2隻)	
中短波・短波船	計 135隻
■ 小型漁船(超短波船)	149隻
総数	合計 284隻



主な業務事項

- GMDSSに基づく所属船との通信
 遭難・緊急・非常通信の取扱い
- 台風、警報など気象情報の放送
- 水産庁・海保からの海上安全情報・航行警報などの周知放送
- 地域情報の収集と放送
- 韓国・中国へのEEZ入域通報業務代行

関係機関との情報ルート

